

中高生スマホサミットコンクール

2部門5校最優秀

スマートフォンの適切な利用方法について県内の中高生有志が議論した「OKAYAMAスマホサミット2017」（県教委、岡山市教委、山陽新聞社主催）で、学校などから募集した啓発コンクールの動画と活動事例の最優秀賞、優秀賞が決まった。最優秀賞は動画で2中高の2チームの作品、活動事例で3中高の取り組みが選ばれた。

県教委はインターネットで動画を公開しており、適正利用に役立ててもらおう。（水嶋佑香）

子どもとネット

成績の低迷を演じ、利きにくいのは難しい。用ルールを守る大切さを訴えた。

「これからの人生、スマホを使わないで生

ルール大切さを訴え 「闇」の世界を警告

警中 赤桜が丘
野南 玉光

動 画

啓発動画は8中高から14点の応募があり、最優秀賞2点のうち1点は赤桜市立桜が丘中生徒会の「スマホと向き合うために」と題した1分間の作品。スマホの長時間使用による



啓発動画の最優秀賞に選ばれた桜が丘中生徒会作品の一場面

と3年石原理菜さん。もう1点は玉野光南

活動事例

玉野 定期テスト前白
日比中 利用の少なさを競う
倉敷 教員研修用の動画
天城中
真庭高

27小中高から寄せられた啓発活動事例の最優秀賞には玉野市立日比中、倉敷天城中、真庭高が選ばれた。

日比中は「迷惑だ送る時間を考えろ」といった「スマホ三カ条」を決め、定期テスト前はスマホやテレビを自粛する「ノーメディア週間」とし、PTA総会で保護者にも協力を要請した。

天城中はスマホやインターネットの利用時間の少なさをクラスごとに競い、適切な利用に向けた豆知識を記した日めくりカレンダーも作った。

玉野市立日比中 スマホ三カ条策定、ノーメディア週間の設定、PTAへの協力要請、近隣中高との情報交換

倉敷天城中 スマホ利用時間の少なさを競うクラス対抗戦、利用時間実態調査、各教室で上映する啓発CM作成、スマホ豆知識カレンダー作成

真庭高 スマホに関する教員研修用の動画作成、教員と合同のグループワーク、意識調査の実施

高True Love た。が作った「スマホのネットの向こう側」（30秒）。スマホを操作する女子生徒が「闇」に引き込まれるイメージを描き「この世界には悪意を持った人達もいます」と警告し

動画の優秀賞受賞チームは次の通り。
玉野光南高 s4▽同高白飯プロジェクト▽倉敷天城中天城フレンズ11▽同中生徒会withハーリー▽瀬戸内市立邑久中スマサミプロジェクト

3年平田凌斗さんは行った。

「控えようと思っ

ても着信があれば気になって『ながら勉強』になってしまふ。全校で取り組み、保護者の理解も得られ、効果は出ていると思う」と話している。

赤桜市立山陽北小▽笠岡市立笠岡東中▽美作市立英田中▽備前市立吉永中▽総社市立総社中▽倉敷古城池高

た日めくりカレンダーも作った。真庭高は高校生のリアルなトラブルを題材に教員研修用の動画を作成。教員と生徒が一緒にグループワークを